

令和4年5月25日

第69回近畿高等学校バスケットボール大会における
新型コロナウイルス対策ガイドライン

近畿高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国高等学校体育連盟から発出された新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

JBA バスケットボール事業・活動ガイドライン第5版（2022年5月12日作成）が公開されています。各チームでご参照くださいますようお願いいたします。

▼JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf

1 大会運営全般について

- (1) 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所と予め検討しておく。
- (3) 万が一感染が発生したときには、保健所からの要請に従い、感染拡大防止に協力する。
- (4) 消毒等感染防止に必要な物品は、本専門部が準備する。
- (5) 全日程・全会場において、会場に入ることができるのは、出場チームはコーチ1・アシスタントコーチ1・学校関係者（管理職）1・選手15・マネージャー1、トレーナー1及び大会役員（審判・大会スタッフ等）とする。報道関係者等は大会本部の許可を得るものとする。観客については、選手の保護者・ベンチエントリー以外の選手に限り入場を認めます（以下、チーム応援団と表記）。チーム応援団の人数は1チーム上限30名とします。
※25、26日の試合勝者はダブルヘッダーとなります。チーム応援団については、自チームの試合終了後、一度退館していただき次の試合前に再入場していただきます。
- (6) チーム及び選手の参加可否は所属校長が判断する。

2 会場運営について

- (1) チーム関係者及びチーム応援団は入れ替えとする。大会役員、生徒補助員も最小限の人数で行う。
- (2) 会場はこまめに換気をする。
- (3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。TO・CKの椅子・用具等の消毒は、TOを担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。
- (4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
- (5) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。

3 参加者について

- (1) 参加者は、常時マスクを着用する。試合中も、ベンチにいるときは体調に留意しながらできるだけマスクを着用する。

- (2) アップ時の掛け声やで声を出しての応援は禁止する。(ベンチからの指示等は飛沫防止に十分配慮する。) 試合前後または試合中の握手、ハイタッチなどの接触は避ける
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。昼食時などマスクを外すときは、会話をしないように心がける。
- (4) 水分をこまめにとるなど熱中症予防を心がけること。なお、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。
- (5) 接触確認アプリ（「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」 若しくは「新型コロナ対策 パーソナルサポート もしサポ滋賀」を自身のスマートフォンにインストールすることを推奨する。
- (6) 参加者は、健康状態把握のために以下を実施してください。

ア) チーム関係者

①「健康チェックシート」(様式1)

大会前 2 週間における体温及び健康状態他、必要事項を記入すること。顧問はチーム関係者の健康状態の把握に活用してください。自チーム試合開始日の4日前からの体調不良(有症状)者が出た場合には、該当者の参加は見合わせてください。チーム参加の是非については検討してください。入館時に受付での確認や提出はありません。

②「健康チェック名簿一覧表」(様式2)

試合当日、参加者氏名、健康状態等を各チーム顧問が記入して、入館時に受付で提出してください。入館時体温は受付で大会役員が検温します。選手は「健康チェック名簿一覧表」に記載された順番に整列し、検温チェックを受けてからまとめて入館してください。

遅れてくる参加者がいるときは、その旨を大会役員に連絡する。生徒の場合は、到着次第、顧問引率の上、大会役員に報告してから入館すること。

イ) 大会役員・審判・報道関係者等

入館チェック時に「健康チェックシート」(様式1)を提示、確認後返却します。

ウ) チーム応援団

試合開始30分前に集合して、大会役員の誘導に従い2階観客入口で検温してから入館してください。その際、本部から配布された入場券を提示し、学校名・氏名等を記入して半券を渡してください。館内ではマスクを着用し、チーム関係者と接触はしないこと。

発熱等の目安となる症状がある方は入館を控えてください。

(7) 陽性者／濃厚接触者／体調不良者が判明した場合の対応について

JBAガイドライン第5版P18～20を御参照の上、P36～38のチーム対応フローを遵守して下さい。感染の恐れがある場合は、チームの出場辞退をお願いする場合があります。

入館時の検温について、非接触式体温計で2度計測しても37.5℃以上の場合は、電子体温計を用いてわきの下で検温し、それでも、37.5℃以上の場合は、体調不良者と判断します。前日までの活動状況によって、該当者のチームは出場辞退をお願いする場合があります。

上記「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては対戦チームに出場辞退をしていただく場合もあります。

4 その他

- (1) 感染拡大やチーム参加状況により、大会途中でも大会中止とすることがあります。
- (2) 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。
- (3) 本ガイドラインの記載内容については、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者等に連絡し、遵守するようにしてください。